

## 10 侵入警戒調査

### (1) ミバエ類

#### ① 青果市場調査

##### ア 調査方法

4月から11月にかけてスタイナー型トラップを青果市場に常時設置し、原則として月1回（8月のみ2回）以上各害虫の捕獲の有無を確認した。誘引剤はミカンコミバエ種群・ウリミバエにユーゲルアD8、チチュウカイミバエにメドフライコールを用いた。誘引剤は月に1回（8月は2回）新しい物に交換した。

##### イ トラップ設置場所

地域	調査地点
区部	江東区、大田区、板橋区、新宿区、足立区
多摩地域	八王子市、青梅市、多摩市、国立市、東久留米市

##### ウ 調査結果

調査期間中いずれの地点においてもミカンコミバエ種群、ウリミバエ及びチチュウカイミバエの誘殺はなかった。

#### ② 南鳥島調査

##### ア 調査方法

令和3年11月24～25日にミカンコミバエ用トラップ（ユーゲルアD8）及びチチュウカイミバエ用トラップ（メドフライコール）をそれぞれ島内に5箇所設置し、令和3年12月22～23日に回収して、ミバエ類の捕獲の有無を確認した。

同日程で島内2か所から寄主植物（パパイヤ）の果実を採取し、25℃で5日間保存した後、ミバエ類の寄生の有無を確認した。

##### イ 調査結果

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエのトラップへの誘殺及び果実への寄生は確認されなかった。

### (2) ウメ輪紋ウイルス（プラムポックスウイルス）全国調査

#### ① 調査方法

「平成29年以降のウメ輪紋ウイルスの全国発生状況調査の実施について（平成29年2月27日付け28消安第5288号消費・安全局植物防疫課長通知）」に基づき、令和3年6～7月に都内の4地点において調査を実施した。

#### ② 調査場所

地域	調査地点
区部	江戸川区
多摩地域	日野市、国立市、瑞穂町

③ 調査結果

瑞穂町で採取した5検体のうち4検体からウメ輪紋ウイルスが検出された。それ以外の地域の検体からは本ウイルスは検出されなかった。

**(3) キウイフルーツかいよう病（Psa3系統）春季調査等**

① 調査方法

「キウイフルーツかいよう病の Psa3 系統の防除対策マニュアル（暫定版）（平成 30 年 5 月 22 日付け 30 消安第 892 号消費・安全局植物防疫課長通知）」第 5 の 5 に基づき、令和 3 年 4 月から 6 月にかけて 5 園地の春季調査を実施した。

また、「キウイフルーツ苗木等検査実施要領」（平成 30 年 4 月 25 日付け 30 消安第 228 号農林水産省消費・安全局長通知）に基づき、穂木の生産園地 2 園地について、横浜植物防疫所と協力し検査を実施した。

② 調査場所

調査・検査	調査地点
春季調査	小平市、東村山市（計 5 園地）
苗木検査	小平市（2 園地）

③ 調査結果

いずれの園地においても、本病の発生は確認されなかった。